

平成 26 年度

武蔵野市民意識調査 報告書

平成 27 年 3 月

武 蔵 野 市

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えを伺うことを目的に、市民意識調査を実施してきました。今回の調査においても、第五期長期計画・調整計画の策定を含めた今後の市政運営の基礎調査とすべく、市民の皆様の行政ニーズや課題の把握、現在行っている事務や事業の評価等を行いました。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、定住意向、生活環境の評価、地域への関心度、近隣との交際状況、地域とのつながりの満足度、住みやすさ向上の行動状況、地域への誇り・愛着〕	(問1～問8)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の事業の認知度、市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段〕	(問9～問12)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問13～問15)
(4) 自由意見欄	

3 調査設計

- | | |
|----------|------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送法（郵送配布・郵送回収・封書督促を1回） |
| (5) 調査時期 | 平成26年7月15日（火）～7月31日（木） |

4 回収結果

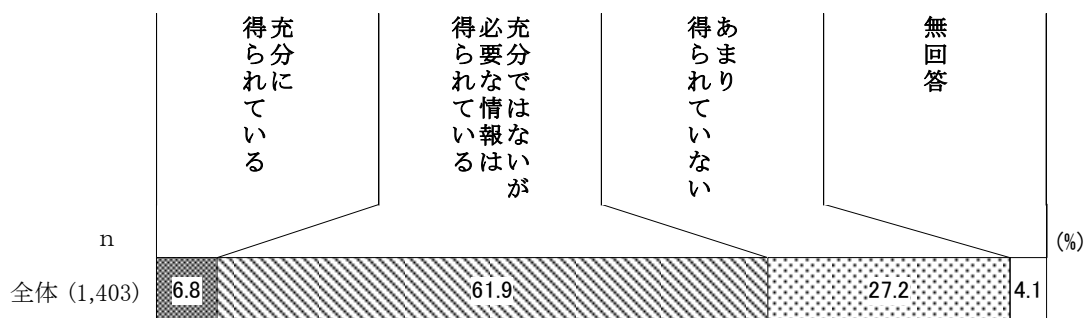
	標本数	回収率
今回	3,500 標本	40.1% (1,403 件)
平成22年	3,500 標本	47.8% (1,672 件)
平成19年	3,000 標本	48.1% (1,442 件)

2-2 市の情報の入手状況

- ◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割強、「あまり得られていない」が2割台後半である。

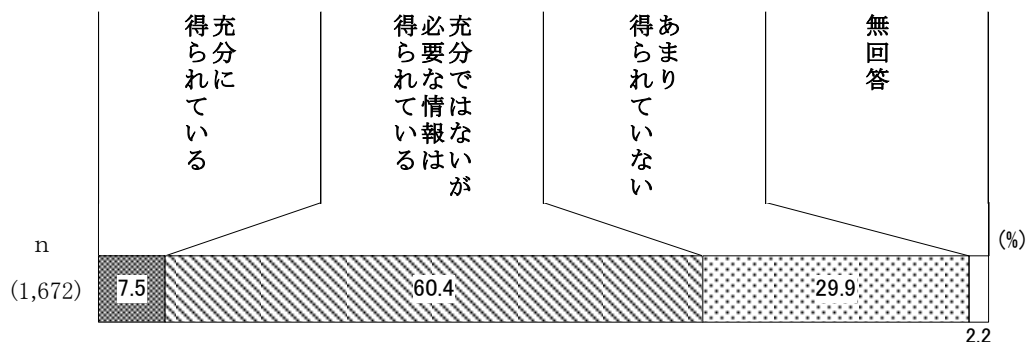
問10 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。（○は1つ）

図表2-5 市の情報の入手状況



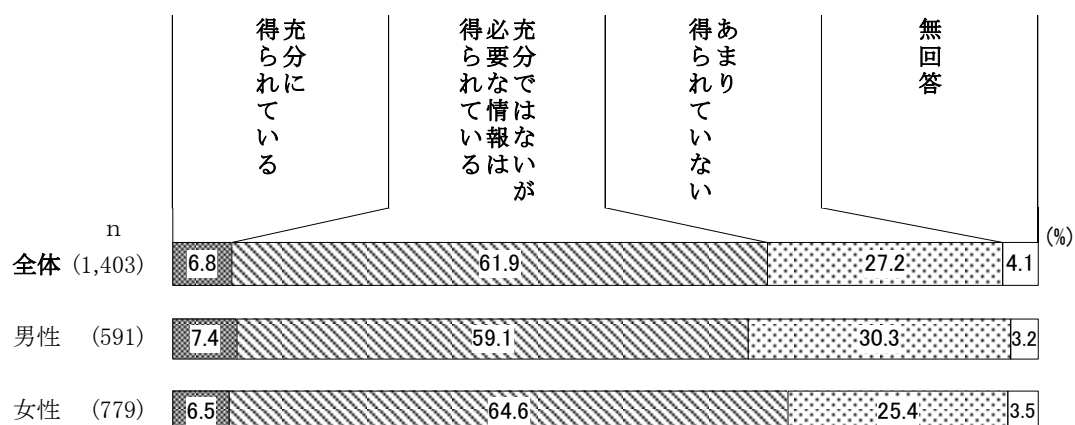
市の情報の入手状況は、「十分に得られている」（6.8%）と「充分ではないが必要な情報は得られている」（61.9%）を合わせて7割近い数値であった。「あまり得られていない」（27.2%）が2割台後半となっている。（図表2-5）

参考：平成22年度調査の結果



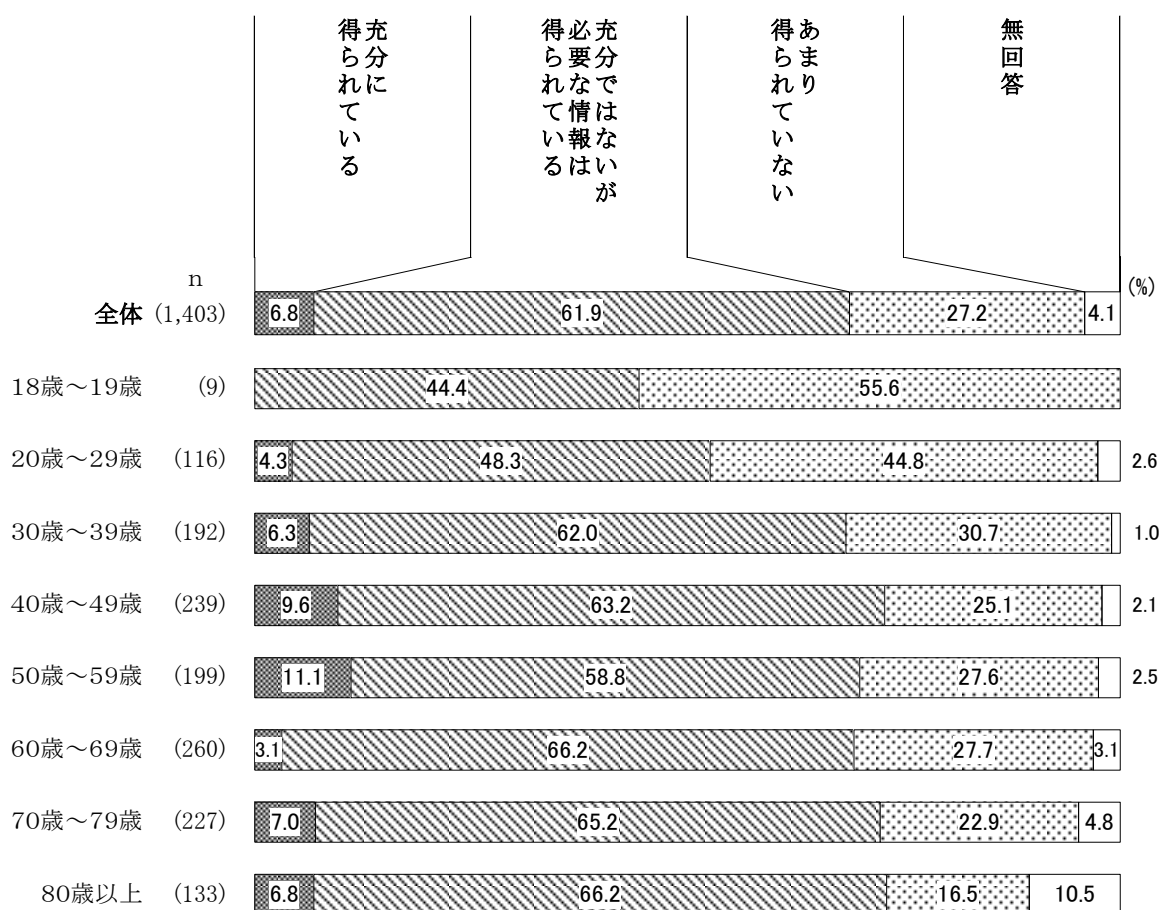
前回調査と比較すると、全体としては大きな変化は見られない。

図表 2－6 市の情報の入手状況 （性別）



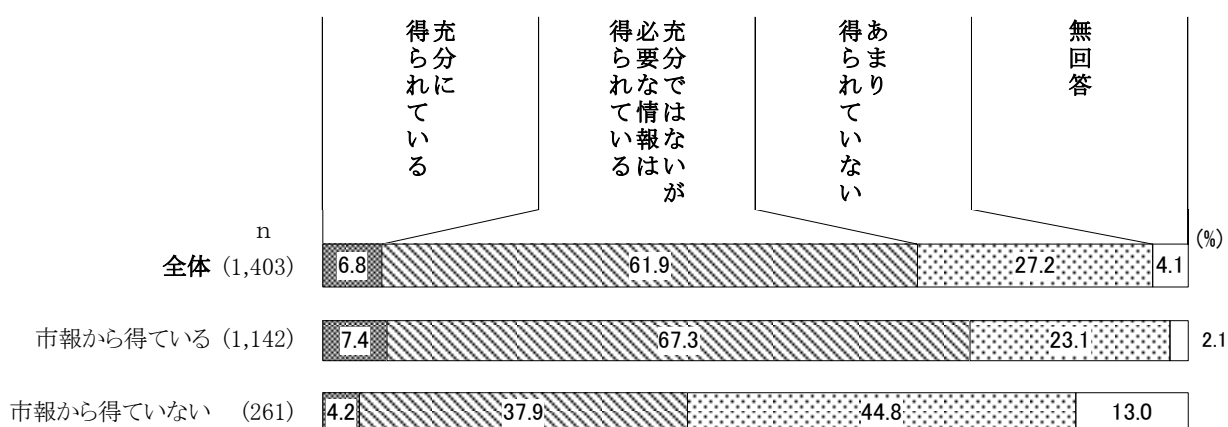
性別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、女性の方が男性よりも 4.6 ポイント多くなっている。一方、「あまり得られていない」は、男性の方が女性よりも 4.9 ポイント多くなっている。（図表 2－6）

図表 2－7 市の情報の入手状況 （年代別）



年代別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、30 歳以上で約 7 割かそれ以上となっている一方、「あまり得られていない」は、20 歳～29 歳で 4 割台半ばである。（図表 2－7）

図表 2－8 市の情報の入手状況 （市報からの市政情報入手別）



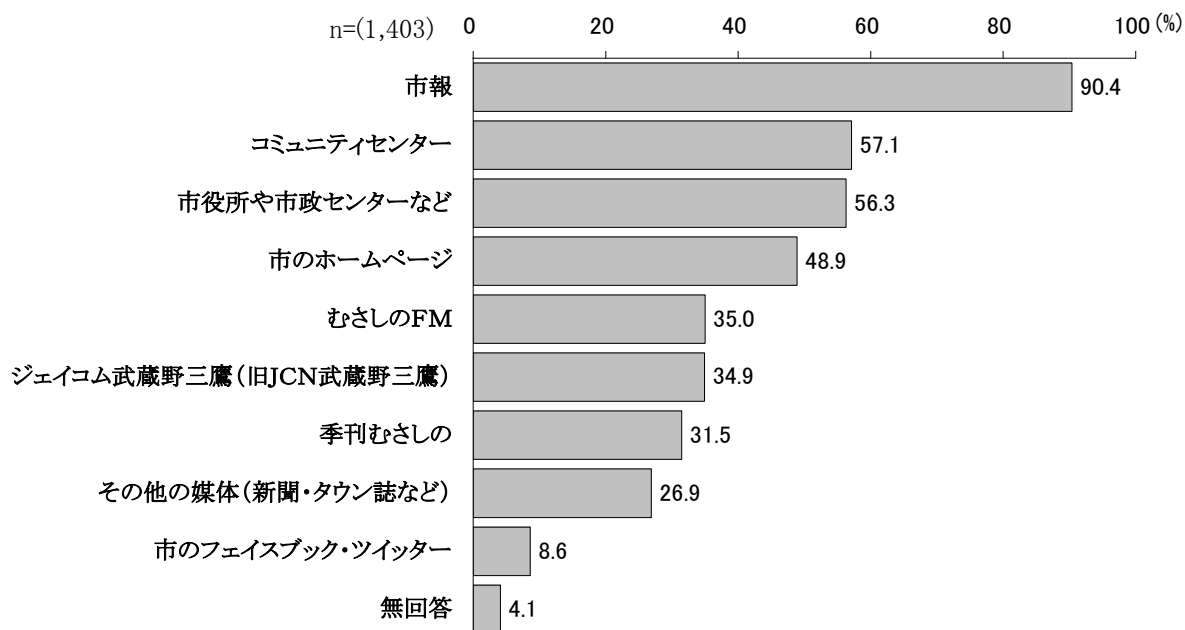
市報からの市政情報入手別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、市報から得ている人で7割台半ばとなっているのに対して、市報から得ていない人で4割台前半と大きく差が出ている。「十分に得られている」も同様の傾向が見られる。また、「あまり得られていない」では、市報から得ていない人で4割台半ばと多い。（図表 2－8）

2-4 広報媒体の認知状況

◎ 「市報」が約9割で最も多い。

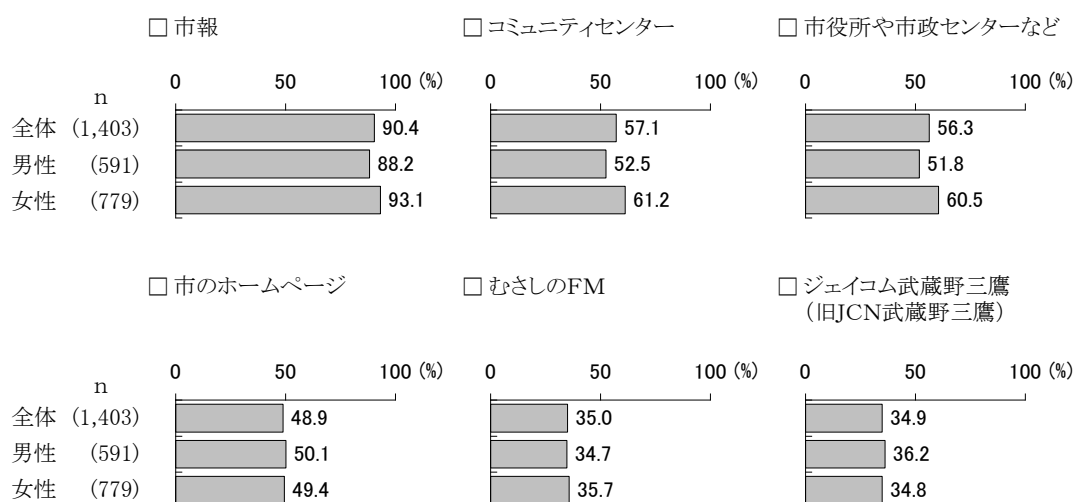
問12 市では、さまざまな媒体（場所）を利用して、武蔵野市政の情報を発信しています。あなたは、次の媒体（場所）を知っていますか。（〇はいくつでも）

図表2-15 市政の情報の入手手段（複数回答）



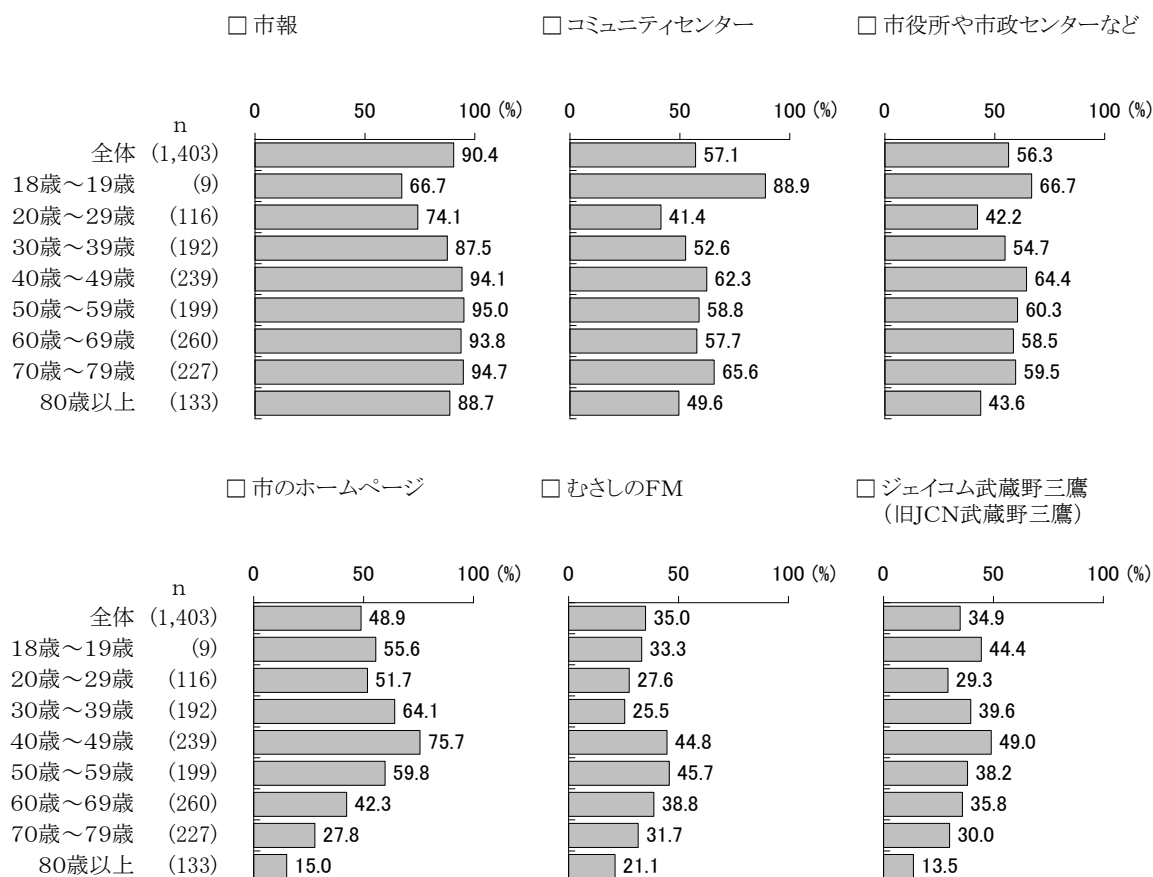
広報媒体の認知状況は、「市報」（90.4%）が約9割で最も多い。次いで、「コミュニティセンター」（57.1%）、「市役所や市政センターなど」（56.3%）で、ともに5割台半ば、「市のホームページ」（48.9%）が4割台後半で続く。（図表2-15）

図表 2-16 広報媒体の認知状況 (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別で見ると、「市報」は 4.9 ポイント、「コミュニティセンター」と「市役所や市政センター」は、それぞれ 8.7 ポイント女性の方が男性よりも多くなっている。(図表 2-16)

図表 2-17 広報媒体の認知状況 (年代別) 上位 6 項目



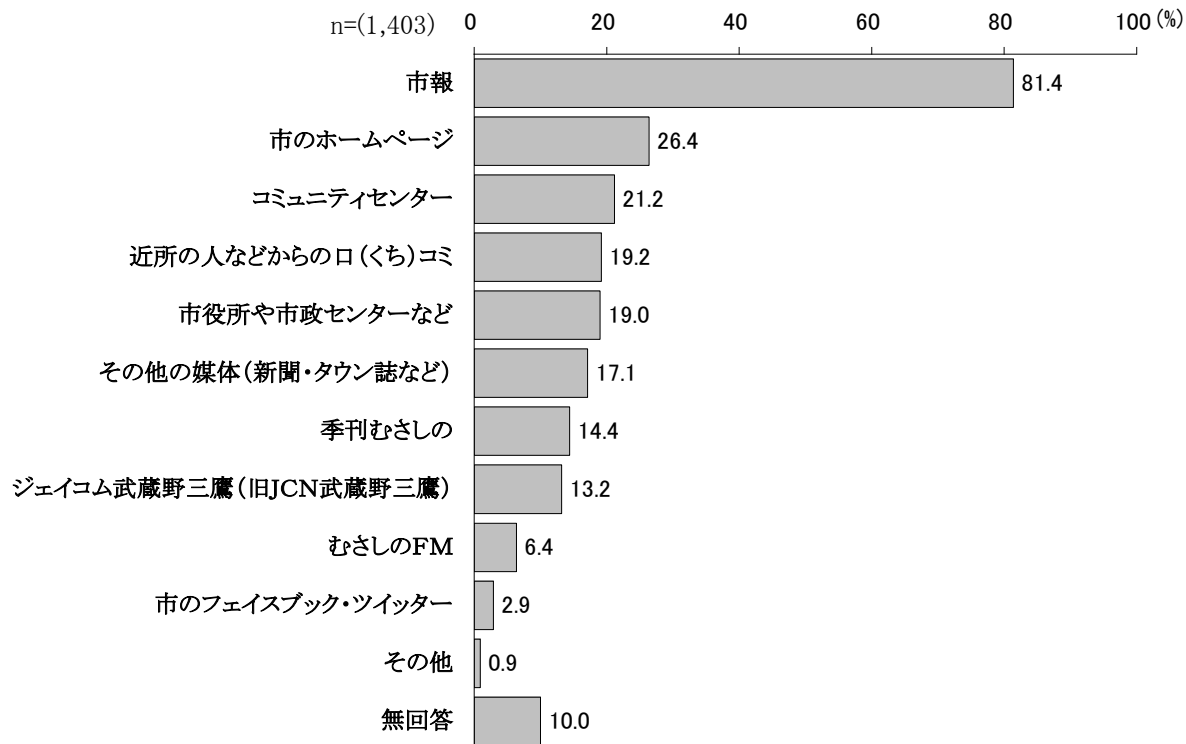
年代別で見ると、「市報」では、40 歳~79 歳の各年代で 9 割を超えており、「コミュニティセンター」は、40 歳~49 歳、70 歳~79 歳で 6 割台と多く、50 歳~69 歳も 5 割台後半となっている。「市のホームページ」は、40 歳~49 歳が 7 割台半ばで最も多く、それ以降は年代が高くなるにつれて低くなっている。「むさしの FM」については、40 歳~59 歳が 4 割台半ばで、他の年代と比べて高くなっている。(図表 2-17)

2-5 市政の情報の入手手段

◎ 「市報」が8割強で最も多い。

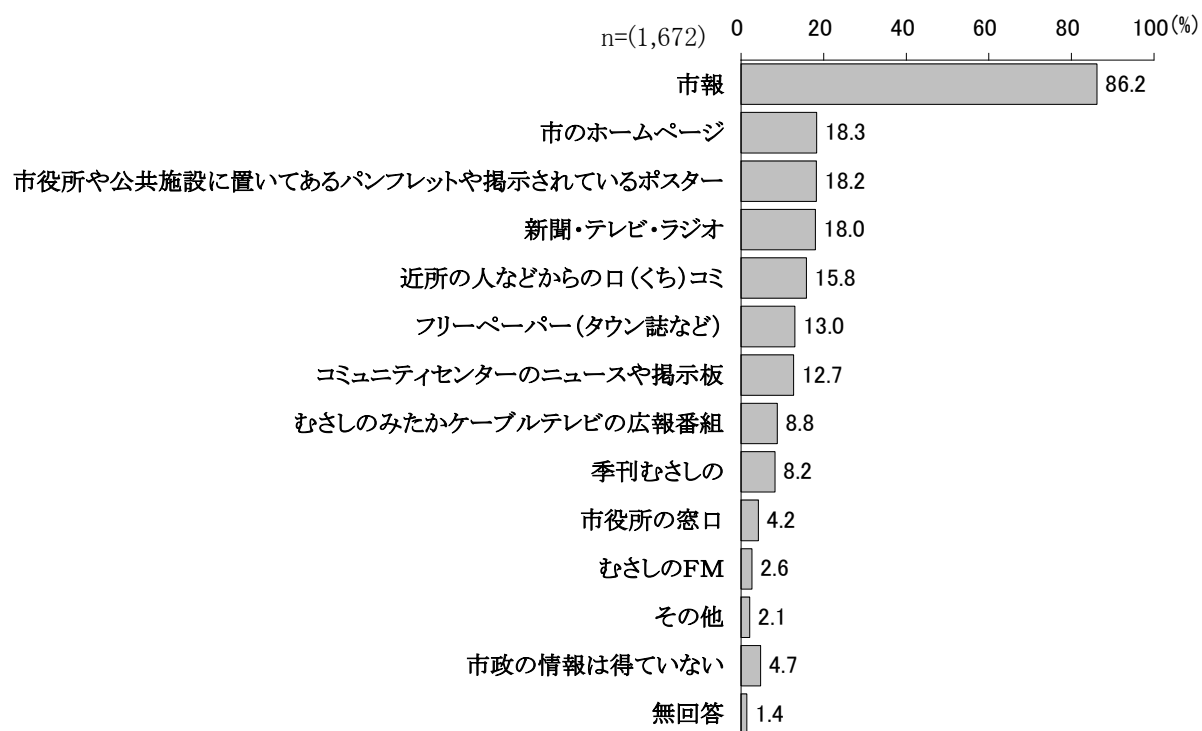
問 12 市では、さまざまな媒体（場所）を利用して、武蔵野市政の情報を発信しています。
あなたは、次の媒体（場所）から情報を得ていますか。（○はいくつでも）

図表 2-18 市政の情報の入手手段（複数回答）



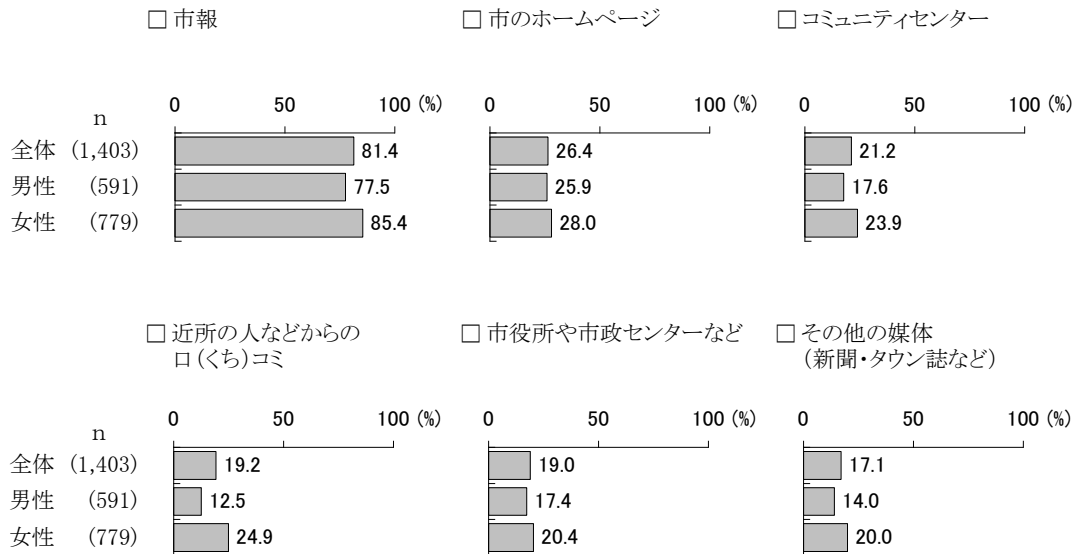
市政情報の入手手段は、「市報」（81.4%）が8割強で最も多い。次いで、「市のホームページ」（26.4%）が2割台半ば、「コミュニティセンター」（21.2%）が2割強と続く。（図表 2-18）

参考：平成 22 年度調査の結果



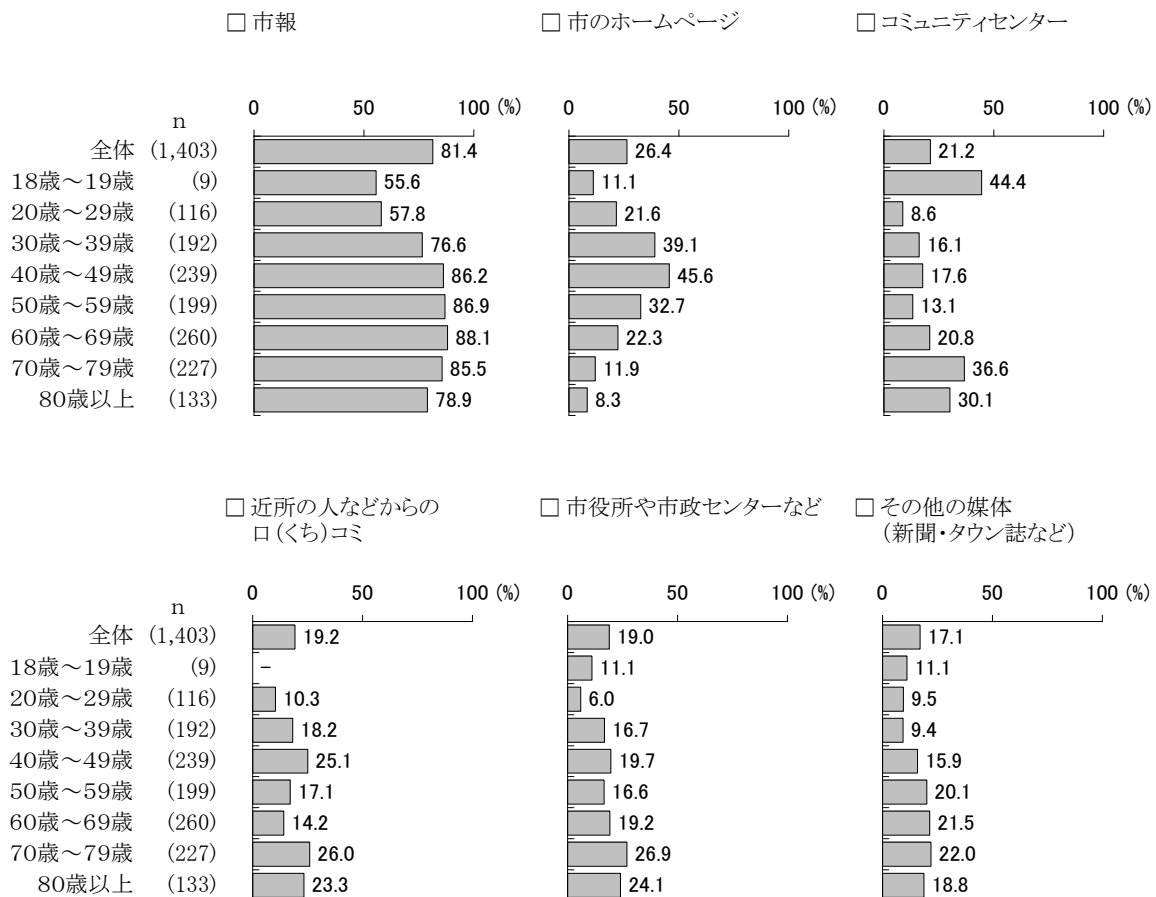
前回調査と比較すると、選択肢の変更があったものの、1位は「市報」、2位は「市のホームページ」で前回と同様になっており、3位は「コミュニティセンター」が前回7位（前回「コミュニティセンターのニュースや掲示板」）から上昇している。割合を見ると、「コミュニティセンター」は、前回と比べ8.5ポイント、「市のホームページ」は8.1ポイント増加している。

図表 2-19 市政の情報の入手手段 (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別で見ると、すべての項目で女性の方が男性よりも多くなっており、「市報」は 7.9 ポイント、「近所の人などからの口(くち)コミ」は 12.4 ポイントの差となっている。(図表 2-19)

図表 2-20 市政の情報の入手手段 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「市報」は、40 歳～79 歳で 8 割台半ばと多く、「市のホームページ」は、40 歳～49 歳で 4 割台半ばと多くなっている。(図表 2-20)